

第2回保護者向け説明会

インターネットを經由して寄せられたご意見など

(1)市民への周知や説明不足
情報を得られない親への周知も必要。資料を学校で配布する、アンケートを対象児童や家族に行うなどすべき。
今年の春、学校の保護者会で、初めてこの学校設備整備計画について知りました。しかし、今回の説明会では、また別の案(中学校2校案)が出ていること、それに対しての様々な賛成、反対意見があることを知りました。もっと、積極的に情報を得るべきだったと反省しました。前もってYou Tube等で内容を把握した上で、説明会に参加すればよかったです。
初めての説明会は不足を感じましたが、そこから色々なことを考慮していただき、努力を感じました。
回答
これまでいただいたご意見等を参考に、周知方法についても改善していきたいと考えております。アンケートにつきましては、実施の有無も含めて現在検討中であります。さらにより良い計画となりますよう、今後ともご意見等お寄せいただきますようよろしくお願いいたします。
(2)小・中学校の統廃合と地域の活性化、公共施設の配置の問題
西部地区に学校は残してほしい。小規模の学校だからこその魅力はある。
教育委員会だけでなく、まちづくりに関わる大きな公共事業なので踏まえて考えていただきたいです
説明会では「効率的に～」とありましたが、本来教育は効率的にできるものではないですし、2020年から始まっている教育改革で、統廃合がなくても大変な時期ですので、慎重に進めていただきたいです。そして、今回の説明会を通じてやっぱり人が見えてくると印象も違うので、ハード面だけでなく今後も開かれた教育委員会であって欲しいです。
回答
これまでの説明会などでいただいたご意見の中には、「陵西学区に学校を残してほしい。」などの声も多く、第2回説明会資料より見直しを含めた検討案についてもお示ししております。
(3)小学校を2段階で統合する場合に小学校と中学校とで統合が続くことによる子どもや保護者の負担増について
2段階の統合する必要性はないと思う。
当事者にならないと分からないことではありますが、なるべくなら余計なストレスを与えずに学校生活を送って欲しいと願います。新しい学校が完成したタイミングの方がみなが新しい気持ちで進める気がします。

回答

小学校と中学校で2回統合を経験する子どもの対応については現在検討中でございます。統合は子どもや保護者の方にとってストレスが予想される変化ですので、統合に関係するみなさまが安心して通学・新しい学校生活を送れるように、事前の交流やストレスが低減されるように準備を進めていきたいと考えております。

統合までの準備に関しては「(仮)統合準備委員会」を設置し、そこに保護者、地域の方、教員等を構成員として、統合に向けて、また、統合後のことについても話し合う予定でおります。

(4)中学校の「1校案」に対して、「2校案」の検討について

1校にする事が良い部分もあると思うが、大規模になる事でいじめなど子どもたちの精神的負担も大きいと感じる。1校だとしたらどこに建てるつもりなのか、その候補地を知りたい。

予算的にも、将来的に少子化が見込まれることから、1校案が現実的と感じました。ただし、1校となれば、一人一人へ目が行き届かないのではないかと心配です。出来る子出来ない子の格差が大きくなるのか懸念しています。子供達への負担などに配慮し、十分準備をした上で統合となれば良いと思っています。既に意見が出ている、スクールバスの問題など、地域との兼ね合いもあると思いますが、子供達は意外と柔軟性があります。是非、前向きな意見を参考に話を進めていただきたいです。

市内に複数学校があったら、雰囲気も特色も出ていいなと思うので、2校が良いかと思っています。先日の説明会で建設にかかる費用の補助金のことを聞くと1校の方が現実的なのかなと思いました。

中学校一校案に対しての質問なのですが、

一校になった場合、高校への推薦の枠は二校と一校ではどのように変わりますか？

AO入試に関しても学校数が変わることで生徒の活躍の機会が少なくなることはありますか？

回答

統合中学校の建設予定地について、令和4年度中の選定を予定しておりましたが、説明会等でのご意見を踏まえ、一時的に選定を中断しております。計画の見直し等の方向性が決まりましたら、用地選定を再開する予定でございます。

説明会の中でも財政面に関するご意見をいただいておりますので、次回以降の説明会では財政的なことも含めてご説明したいと考えております。1校案のデメリットの部分について対応策を提示して不安を解消できるようにしたいと考えております。

高等学校への推薦に関することも含めて、今後、高校とどのような形で、連携・協力していけるのか、県と話し合いを進めていきます。

①どんな子どもたちを育てたいのか。(今後想定される学習環境など)

デジタル機器など駆使し、寒河江の歴史や自然環境も活かした中で育てていければと思う。

ひとりひとり自信をもって生きていけるこどもを育てて欲しいと願います。こどもたちの創造性、個性を壊さないで欲しいです。

日本人の自己肯定力が下がるのは小学校からと聞いて納得してしまっていますが、公立校だからこそできる家庭格差を埋める教育が必要です。今、国語力の低下が言われていますが、それによっての様々な問題が生じていると感じています。タブレット教育がどのような内容なのか分からないことが多いのですが、今までの一方的で、一部の発言力のある生徒だけが伸びるような授業や分からないまま過ぎて勉強が苦手、嫌いになるのではなく、反復が必要な基礎学力固めは個別にタブレットで対応するなどして、本来クラス人数がいるからこそできる自由度の高いアクティブラーニングなどの教育環境を願います。思考を広げて欲しいです。学びは一生続くことを伝えてほしいです。

ALT の配置について、現在中学 3 校に一名ずつ配置されているそうですが、どの程度授業やそれ以外の時間に ALT の方々が活動されているのか疑問があります。

それよりも小学生のうちにとりだけ、英語環境に出会えるかの方がその後の英語が教科となって文法を習う意欲に繋がり、大切だと思うので固定するのではなく、ALT の方には常に動いて十分にお仕事をしていただきたいです。

回答

デジタル機器（タブレット、電子黒板など）は、個別最適化された学びの実現に向け、普段の授業から教員も子どもたちも、日常的に使用しております。また、学校に登校できない時でも授業を継続できるように学校と家庭をつないだリモート授業も行っております。デジタル機器を活用するとともに総合的な学習などを通じて地域で学んだこと、実体験したことを共有する取り組みなども行っております。また、グローバル化に対応した教育として、ALT 5 名と AET 1 名を配置し、中学校は、各校に 1 名常時配置し、小学校は学校規模に応じてですが、週に 1～2 回学校に訪れ、英語の授業を行っております。

②いじめや不登校への対応について

小学校～中学校にかけ同級生や教師いじめを受けていた経験があり、人数が多くなるとその分いじめはエスカレートする事を身をもって経験している。いじめに対しての子ども達への教育と教員への研修が必須だと思う。

いじめや不登校をなくそうと努力していただけることは分かりますが、対応するにも限界があると思います。いじめは教育委員会の責任になることも疑問です。そして、不登校がネガティブなものなのか、ポジティブなもののかも分かりません。校内の専門家配置ももちろんですが、その方々がどのような活動をしているのか知りたいです。不登校という状況になったとしても学習が続けられる環境や相談できるスペースが学校外にも必要だとも思います。校内に専門家を配置しても学校に入れなかったら意味がないですし、専門家を招いて人間の性質上のこと、当事者になったときの対応、色んな支援方法などを授業に取り入れたり、自殺を予防も対応してほしいです。誰もが当事者になる可能性があるこ

となのをお願いします。そしてギフト支援もお願いします。

回答

いじめ不登校に関しては、スクールカウンセラーの配置など人員面での体制の強化や研修会の拡充を検討しております。また、いじめの早期発見と早期解消について努めて、少しでも不安を取り除けるように進めてまいります。

様々なストレスが子どもたちの行動に繋がっていることを認識し、できるだけストレスの少ない、ストレスを軽減できる学習環境づくりに努めてまいります。

③複式学級について

複式学級に問題があるとすればもっと早い段階でその問題を考えるべき。幸生小学校は何十年も複式学級だったはず。

複式学級の運営の方法の難しさも知りましたが、私はポジティブに思っています。

上手くいかないのはもしかしたら大人数のクラスに合わせた授業内容や運営方法だから??と、思ってしまう。少人数の方がより密に生徒に対応してはいけないのかもしれないませんが、学習面はICTを活用したり、縦割り上手く利用して複式だからこそそのオリジナルを持って欲しいです

クラスで見本となる人がいなくても色々な方法で知ることができるし、先生次第、、

回答

複式学級の良さとしては、一人一人の様子を丁寧にみることができることや一人一人の役割があることが多い等があります。これまでの教育は、どのくらいの知識を持ち、いかに理解しているかに重きをおいて学んでいました。これからの教育は、ICTを活用し、その場で調べることができます。これからは、表現力、思考力、他の友達の考え方を聞いて、自分の考えを広めるという力が必要になってくると思います。その場合はもう少し多い人数の方が学びを深められると思います。

④特別支援学級について

知的障害や発達障害といっても多種多様でその子ども達の特性にあった教育が受けられるようにする必要があります。その子ども達を持つ親が学べるような場所も必要ではないか。親が受け入れていないと子どもは自身の特性を受け止めきれないのでは。親自身に発達障害がある場合もあり、それに気づいていない親がいる事も。双方向から学べる環境も必要だと思う。

今現在の寒河江市の状況が分からないのですが、大阪市立大空小学校のドキュメンタリー映画「みんなの学校」を観たら、こどもたちのパワーを感じました。特別支援ってなんだろう?と思います。もちろん支援する教員の方にもよりますが、保護者としては色々な個性に揉まれて欲しいので保護者や本人が望めば通常学級での学習をして欲しいと思います。

回答

学校での学びを、通常学級か特別支援学級で行うかは、保護者とそのお子さんのご意見を含んで市教育委員会が判断します。学校では、一人ひとりの個性に応じた対応をします。特別な支援を要する子どもたちへは、その実態に応じて、授業を組み、交流学級での学習を大切にしたりします。また、人員としては、専門性の高い教員の配置したり、特別教育支援員の配置をしたりするなどして対応していきます。

⑤通学方法について

スクールバスになるだろうが、その通学や帰宅時間には心配がある。道路の渋滞についても、十分に考慮して中学校候補地を決めてもらいたい。

生徒数が多く、通学方法も様々だとしても、通学時間帯が集中してしまうので、学校周辺での渋滞や事故が心配です。

ランニングコストのことが気になりますが、冬のことを考えるとスクールバスもありがたいです。

回答

学校の用地を選定するにあたり、徒歩または自転車での通学を基本とします。学校からの距離が遠いとされる地域には、スクールバスの運行を検討します。また、朝や冬期間は、交通渋滞も心配されます。経路や、出発時間、保護者の送迎等のルールなど細かいところまで気を配り、安全安心な登下校ができるように努めてまいります。

⑥統合前の準備について

交流学習など繰り返して子ども達がお互いに理解できるような準備が必要だと思う。

具体的にどんな準備が必要か、可能な限り早い段階で知っておきたいです。

先日の説明会で統合前のケアを言っていました、少人数だから可能だったのかな？と思ってしまいました。なので、時間をたっぷり使って団体同士ではなく、ひとりひとりと関わられるように事前のコミュニケーションを計っていただきたいです。説明会の質疑応答で出ていましたが、段階的に新しい学校に入学している方法は本当に不可能なのでしょうか。

回答

統合までの準備に関しては「(仮) 統合準備委員会」を設置し、そこに保護者、地域の方、教員等を構成員として、統合後のことについて話し合います。統合の2～3年前に動き出し、できるだけ統合後の生活がスムーズに行くように検討します。

ご意見としてある方法案について、学校建設、学校運営、関係機関への確認などを含めた検討が必要でございます。次回以降の説明会で回答させていただきます。

⑦放課後児童クラブ（学童）について

現在のままの学童を望む。学童によっては先生にも差がある事を聞いている。現在の学童には大変感謝しており先生方にも大変よくしていただいている。現在の学童の存続を求む。

学童はお迎えや地域との関わりのことを考えて現状の場所での運営で良い気がします。

回答

放課後児童クラブについては、子育て推進課が担当課となっておりますが、ご意見・ご要望を伝えるとともに、新しい情報があった場合は、積極的に情報提供してまいりたいと考えております。

⑧中学校の部活動について

陵西中では部活動が非常に少なく選ぶにも困るほど。現在行っているスポ少に行けるようになってほしい。任意での加入も大賛成である。今強制加入に何の意味があるのかわからない。

来年から大きく変わっていくので、一校案、二校案どちらともメリットもデメリットも関係ないように思います。それよりも家庭格差や経済格差でスポーツや文化に触れる機会を逃してしまうことのないようにお願いします。生徒本人が望む部活動ができてほしいです。

回答

現在、部活動は大きな転換期に入っております。国や県では、令和8年度から「職員数に対する部の数の精選」、「部活動は土日には行わない」という方針を出しております。寒河江市としても、方針に従いつつ、生徒たちにとって、自分で活動を選択でき、土日の時間を有効に使えるような環境づくりに今後努めてまいります。

⑨コミュニティ・スクールについて

どう言う事なのかわからない

コミュニティスクールとありますが、現在あまり学校が開かれた場所に感じていません。市報に入ってくる報告新聞くらいです。ボランティアに頼るのではなく、色々な世代や市民が関われる学校作りをしていただければ幸いです。地域の仕事のこと、地域の大人が見守れる環境を作っていただけたら嬉しいです。

回答

現在市内の全ての小中学校にコミュニティ・スクールが設置されております。学校の統廃合により、学校と地域のつながりが危惧されている中で、コミュニティ・スクールの果たす役割はますます大きくなるものと考えております。学校のニーズや地域のニーズを話し合い、互いにメリットがあるような組織運営が出来るよう環境づくりに努めてまいります。

⑩その他

現在の中学生の親に統合を説明しても自分事としての回答は得られないのではないか。現在小3～下の学年の親への説明と意見を多く求めるべきである。

説明会で意見が出た、スマホでポチッと回答するだけの簡単なアンケート、是非やってほしいです。

関心をもって、答えてくれる方が増えるはずです。

今年の春からの学校統合のことでお話をうかがって意見や疑問をお伝えしてきたので教育委員会の職員の方々の動きも分かり、要望を聞きながら進めていただいていると感じています。座談会やワークショップなども今後開催していただけるとより市民の方々の声が届きやすいのではないのでしょうか

小さな自治体だからこそできる教育の可能性を信じています。

回答

これまでいただいたご意見等を参考に、周知方法についても改善していきたいと考えております。アンケートにつきましては、実施の有無も含めて現在検討しております。

この整備計画がよりよい計画となるように、子どもたち、保護者のみなさま、教員のみなさま、地域のみなさまからご意見を頂戴し、より多くの意見が反映される計画にしたいと考えております。

第2回保護者向け説明会（事前申し込み分）

インターネットを經由して寄せられたご意見など

ご意見

第二回説明会で複数の案を示していただきました。ありがとうございます。それぞれの案のメリット・デメリットもお伺いしました。考えを深めるにあたり、コストの概要・概算や再編に伴う様々なことの変化を考え合わせなくては、各個人の考えをまとめ結論を出すことはできないように感じております。ぜひ、コストの概算を具体的に教えていただきたいです。例えば、中学校1校又は2校の場合の建設費の試算、補助金の概算、光熱費や管理費などのランニングコストの概算、スクールバスのランニングコストの概算（建設予定地の候補となりうる場所はそんなに多くないのではないのでしょうか。Aエリアならどれくらいの地域の子どもたちが通えない、何ルート出さなければならない、Bエリアならどれくらい、という仮定の話でも、想定がないまま100億単位の投資について意見を求めるのは無理なように思います。特にランニングコストはこの先数十年掛かり続けることになり今の子どもたちが負担していくことになる金額ですので、新築のコストと並べて考えるべきだと思います。）、他にどのようなコストが掛かっているのか等々、実情をお聞かせいただきたいです。また、私はソフト面とハード面は切り離しては考えられないと思います。大きくなるならそれ相応の新しい取り組みやよりよい教育を求めている保護者は多いと思います。説明会では学校の裁量で決められるとのことでしたが、開校前には決められないということだと受け止めました。先進的な取り組みをするための枠組みや許認可等は無いのでしょうか

「中学校を2校にした場合は大規模改修が必要になる。また、およそ20年後には再統合が必要になる。」とのことでしたが、今回1校にして将来空き教室だらけにした場合と、今の2校の校舎を20年間程度もつくりの改修に留めた場合のコストはどちらが抑えられるのでしょうか？

回答

財政面のことにつきましては、今後、ご説明したいと考えております。建設費の比較、ランニングコストの比較などできるよう準備したいと思っております。

統合までの準備については、「(仮)統合準備委員会」を設置し、保護者、地域の方、教員等を構成員として、保護者や地域の方の声の聞き取りや、学校間の情報共有などについても、話し合う予定でおります。

ご意見

これから中学校1校案が変更になることはあるのか。

様々な意見が出ている様だが、もう決定している事なのでと意見を聞き入れて貰えていない様な感がある。出席する意味を見いだせないのではないかと？

計画の一部変更もありうるとのことですが、今後どのような流れで決めていく予定なのですか？結局は市民とかけ離れたところで、教育委員会の中で、都合がいい案に決められてしまうんだろうなという諦めが正直あります。意見を求め、こちらが意見を出したところで、何か変わる余地があるのでしょうか？パブリックコメントだって、そのほとんどが中学校

1校案には反対であったにもかかわらず、1校の案に決まっています。つまり、市民の意見を聞く気はないという姿勢なんですよ。もう住民投票してください。中学校は1校が良いか2校が良いか。市民の意見を反映して欲しい。それに尽きます。

回答

第1回説明会では、多くのご意見をいただきました。第2回説明会では、当初案に2つの検討案を示して、ご意見を伺っております。さらに多くのご意見をいただき、学校施設整備計画をよりよいものにして参ります。

ご意見

5年ごとの2段階合併の必要性は、校舎の危険性だけですか？その後使用しなくなった校舎は、地域のセンターになるというのは、危険ではないのですか？矛盾を感じます。二回の合併をするために、いろいろな弊害の方が多いと思います。

3校統合後のまた小学校が統合となる2段階の統合には反対です。西部地区の住民に対しどのように考えているのでしょうか。住民の事、子どもたちの事もっと考えてほしいものです。

西部地区に学校をなくす理由はなぜですか？

集約化にこだわる必要はないのではないですか。

財政が心配ならいくらでも軽減方法があるのではないのでしょうか？(例P F I)

西部地区に小中学校一緒の義務教育学校作ることも検討して下さい。

回答

小学校と中学校で2回統合を経験する子どもの対応については、現在検討中です。統合は子どもや保護者の方にとってストレスが予想される変化ですので、統合に関係するみなさまが安心して通学・新しい学校生活を送れるように、事前の交流やストレスが低減されるように準備を進めて参ります。

これまでの説明会などでいただいたご意見の「陵西中学区に学校を残して欲しい。」等の声を受け、第2回説明会資料より見直しを含めた検討案についても示しております。